

【重要課題：外国籍の人たち】

道徳科学習指導案

主題名「外国に親しむ」〔学指要領：C 国際理解、国際親善〕

令和〇年〇〇月〇〇日（〇） 第〇校時 〇〇〇〇教室

人権教育としての授業研究の視点

ブラジルから来たジョゼくんが、上手に「だまし船」を折った場面において、「ぼく」の気持ちを考えて役割演技をしたことは、他国の人々や文化に親しむ実践意欲と態度を育てることに有効であったか。

I 主題設定の理由

1 価値観

グローバル化が進展する今日、国際理解や国際親善は重要な課題になっている。これらの課題に対応していくためには、他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を養うようにすることが求められる。

1、2年生の発達段階では、身の回りの物が自国の文化なのか他国の文化なのか明確に区別することは難しく、他国の人々や他国の文化に親しむ経験が多くないという実態から、消極的になってしまう児童もいることが想定される。そこで、生活の中で他国の文化に触れて親しみをもったり、自分たちと異なる文化の良さに気づいたりできるようにすることが大切である。

また、今後、この内容項目は3学年において、「他国の人々や文化に親しむこと」へと発展する。

2 児童（生徒）観

(削除)

3 教材観 教材名「ジョゼくんとおりがみ」(出典：光文書院)

ブラジルから来たジョゼくんは日本語が上手に話せないが、「ぼく」となかよしだ。休み時間にジョゼくんが、上手に「だまし船」を折ってくれて驚く。ジョゼくんからブラジルで折り紙や柔道が人気だと知り、「ぼく」はブラジルのことを、ジョゼくんから教えてもらいたいと思った。というあらすじである。

本教材は、日本文化に親しみをもっている他国の人々に気づき、他国の文化や人々に対して親しもうとする実践意欲と態度を育てることができる教材である。

「ぼく」が、折り紙をジョゼくんに教えてあげようとした時に、教えてなくてもジョゼくんが上手に折り紙を折って見せてくれた場面での「ぼく」の気持ちを考えることで、ジョゼくんに対して親しみをもったり、他国への文化の興味を高めたりすることができる適切な教材となっている。

4 人権教育とのかかわり

群馬県の令和4年度の外国籍の住民の総数が、65,326人となり、令和3年(12月)に比べ7.5%増加し、県の人口比率は3.4%となり、過去最多となった。〇〇町の外国籍の住民の総数は、303人(R5度11月)であり、〇〇町の人口比率は2.8%を占め、多くの他国の人々が生活している。

本教材では、日本文化に親しみをもっている他国の人々について考えることで、自分とは違う文化を持った人々に対して興味をもち、他国の文化に対して親しみをもつことの大切さについて考えることができる。

II 本時の学習

- 1 ねらい ジョゼくんが、「だまし船」を折った場面の「ぼく」の気持ちを、ワークシートにセリフとして書き、役割演技をすることで、お互いの文化の違いに気づき、他国の文化に親しむ実践意欲と態度を育てる。

2 人権教育の視点【育てたい能力・態度】

【感性】日本文化に親しみをもつ他国の人々に気づき、興味や親しみをもつ。

【実践力】自分とは異なる文化をもつ他国の人々と生活の中で仲良くしようとするすることができる。

3 展 開

主な学習活動 主な発問 (◎中心発問 ◇補助発問) 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	○指導上の留意点【★ICT活用に関する事項】
1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。(5分) S：アメリカと日本の野球の試合を見たことあるよ。 S：オリンピックに色んな国が出てたよ。 S：音楽で、あいさつが出てくる歌があったよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <くめあて> 外国の人々とは、どうしたらなかよくなれるか考えよう。 </div>	○児童が、外国について関心を高めることができるように、野球やサッカーなどのスポーツやアンケート結果、音楽で歌った「メッセージ」という曲を提示し、外国のことについて知っていることを問いかける。【★揭示】
2 教科書の教材文の範読を聞く。(5分) 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(20分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎「だまし船」を作ったジョゼクんに、どのような言葉をかけてあげますか。「ぼく」になりきって伝えよう。 </div> S：ジョゼくんが作れるなんて思わないから、すごいつて思ったよ。 S：ジョゼくんが上手に作ったので、びっくりした。 S：ブラジルの方は日本文化が好きなんだね。 S：日本が好きって言われて、うれしいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇どうしてそう思ったのかな。 </div> S：ブラジルってどんな国かな？ S：ジョゼくんの国のことも知りたいな。 S：ジョゼくんもほめられて、うれしかったんだね。 4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてももう一度考える。(10分) S：外国のことをしらべる。 S：日本のことを教えてあげる。 S：いっしょにできるあそびをする。 S：外国のことを教えてもらう。 S：英語で話しかける。	○登場人物がどのような行動をしていたか理解できるように、図に示して板書する。 ○ブラジル人であるジョゼくんが日本文化を知っている驚きや喜びに気づかせるために、教えてもいないのに、上手に「だまし船」を折ったジョゼくんと呼びかける「ぼく」のセリフを考えるように促す。【★データの提出】 ○ジョゼくんを称賛する「ぼく」の心情に気づき、他国の人々に自国を知ってもらえる喜びと他国を知りたいという気持ちをもつことができるように、数名の児童に役割演技をさせる。【★共有】 ○めあてにもどり、どうしたら外国の人々と仲良くなれるのかを考え、ワークシートに自分ができそうなことを書くように促す。 ○「外国の人々どうしたらなかよくなれるか、自分の生活の中で考えよう」と問いかける。 ○自分の生活の中で、より具体的にどうしたら仲良くなれるか書いている児童を意図的に指名する。 ○具体的に書いている児童を指名することで、他者の意見から自分の考えをもったり、自分とは異なる意見を知ったりすることができるようにする。
5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。(5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <振り返り> S：ぼくは外国のことが好きだし、もっと知りたいと思いました。 S：折り紙のこと知っていてうれしかったし、外国の人ともっと話をしてみたいです。 </div>	○ワークシートのまとめを書かせることで、自分が生活の中で行動できることをやっぴこうとする意欲を高める。

◆評価の視点

役割演技の中から、「外国の人々とどうしたら仲良くなれるかについて、多面的・多角的に考えている」姿を見取る。ワークシートの中から、「外国の人々とどうしたら仲良くなれるかについて、自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。